

ダブルスで優勝、シングルで準優勝したリユー理沙マリーさんに対し青少年特別表彰を贈呈しました。

さらに、中部農林高校バイオ研究部が高校生ビジネスプラン・グランプリで優秀賞を受賞、具志川商業高校の上間僚君が高等学校ボウリング選手権大会で優勝するなどの活躍がありました。

そして、うるま市出身の上原健太君と国場翼君がプロ野球球団に入団しました。

今後の活躍を市民とともに期待しています。

それから、地域の頑張りが認められる嬉しい話題もありました。

まず、「豊かなむらづくり全国表彰事業」において、勝連南風原区が農林水産大臣賞を受賞しました。

さらに、平敷屋小学校においては、地域の方々による学校支援活動が評価され、文部科学大臣賞を受賞しました。

これらの受賞は、各地域で活躍する皆さまの励みとなり、さらなる地域の活性化につながるものと期待しております。

一方、経済情勢については、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、地方経済は、まだまだ厳しい状況が続いております。

国においては、更なる経済対策を進め、地方まで景気回復が実感できるような対策を望んでおります。

また、多くの国民が関心を寄せた安全保障関連法の成立や環太平洋経済連携協定いわゆるTPPの大筋合意など、今後の国民生活に大きく影響する政治的な動きもありました。

県内においては、米軍普天間飛行場の移設問題が混迷を深め、司法判断を仰ぐ事態に至っているほか、伊計島沖では、米軍ヘリが輸送艦への着艦に失敗する事故が発生しました。

米軍ヘリの事故について、市では、米軍をはじめとする関係機関に対し、厳重な抗議を行い、事故等の迅速な公表や通報体制の見直し、事故原因の究明と安全管理の徹底などを強く要求したところです。

また、本県の経済を牽引する観光産業においては、入域観光客が776万3千人となり、3年連続で過去最高を更新し、外国人観光客は初めて100万人を突破しました。

今後とも入域観光客の増加が予想されることから、本市においても引き続き、伝統文化・歴史・自然環境を活かした観光誘客の取り組みを推進してまいります。

沖縄振興関連政府予算案においては、平成28年度は、3千350億円の予算が措置されています。

そのなかでも、全国に比べて深刻な沖縄の子どもの貧困に対応するため、今回、新たに「沖縄子供の貧困緊急対

策事業」が措置されたことは特筆すべきものであると考えております。

市としましては、国や県と連携し、子どもの貧困対策を推進してまいりたいと思っております。

また、本市の一括交付金配分額は、17億5千400万円となっており、平成28年度も引き続き、同交付金を活用した各種事業に取り組んでまいります。

我が国は、少子高齢化や人口減少の時代を迎え、社会保障への不安や雇用形態の多様化をはじめとする社会構造の変化により、地域間や所得の格差が広がっております。

このような状況を打開しようと、政府は、昨年引き続き「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による地方創生の取り組みや、「一億総活躍社会」の実現を目指し、「希望を生み出す強い経済」、「夢をつむぐ子育て支援」、「安心につながる社会保障」の新たな3本の矢を主軸とした各種政策により、経済の活性化を図ることであります。

本市では、これらの政策について、国や県と連携し、課題解決に取り組んでまいります。

3 平成28年度の予算規模

次に、予算の概要についてご説明いたします。

平成28年度の予算編成については、「うるま市総合計画・後期基本計画」及び「第12回実施計画」等を踏まえ、各施策の目標達成に取り組むとともに、「第3次行政改革大綱」に基づく行財政改革の実施に努め、限られた財源を効果的に活用するべく枠配分方式を基本に予算編成を行っております。

その結果、本年度の一般会計予算は、521億649万9千円となり、前年度に比べ13%の減となっております。

また、特別会計予算は、国民健康保険特別会計ほか4つの特別会計の合計額が341億9千977万8千円、公営企業の水道事業会計予算は、37億3千791万5千円となっております。

従いまして、本市の総予算規模は、一般会計、特別会計及び水道事業会計を合わせた900億4千419万2千円となります。

(参考) 特別会計予算の内訳

■国民健康保険特別会計	21,424,228千円
■公共下水道事業特別会計	2,639,392千円
■介護保険特別会計	9,228,792千円
■後期高齢者医療特別会計	888,964千円
■農業集落排水事業特別会計	18,402千円